

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	日本女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ニホジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310103439
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	学校インターンシップ
	学部・研究科等名	人間社会学部教育学科
	担当教職員名・役職	野田不二夫：特任教授、宮井和恵：特任教授
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	15
	受入企業等数	15
	受入企業等名	横浜市立川和東小学校、川崎市立住吉小学校、越谷市立城ノ上小学校、横浜市立北山田小学校、相模原市立新磯小学校、上尾市立芝川小学校、相模原市立川尻小学校、新座市立東北小学校、三浦市立初声小学校、海老名市立今泉小学校、さいたま市立太田小学校、横浜市立さつきが丘小学校、さいたま市立島小学校、川崎市立菅小学校、川崎市立西生田小学校
インターンシップの分類	1.長期（概ね1か月以上）インターンシップ	
上記以外のインターンシップの分類（記述欄）		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	教育現場での活動を通して、教職全般についての理解をさらに深め、主体的で実践的に学ばせる。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは、選択科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年 大学 学部4年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学部3～4年生を対象に、主に授業期間中の50時間の実習を組み合わせた専門教育科目「学校インターンシップ」として実施。2単位を付与する。
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	

要素③	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	状況に応じて学生・実習先と連絡を取り合っている。
要素④	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	全1回的事前学習を実施。インターンシップの意義・目的について理解を深め、参加にあたっての心構えについて学ぶ。また、事前に学生が自ら作成した計画書を提出させる。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	実習後のレポート（報告書）を提出させる。
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	状況に応じて学生・実習先と連絡を取り合っている。
	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	3.インターンシップによる到達度を具体的に示した評価基準（例：ルーブリック）を整備し、学生及び教員で共有している	
4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み		
4-3.上記回答内容に関する詳細	授業科目として到達目標を明確に定め、成績評価に反映させている。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	同一実習先にて計50時間以上の実習を課している
	5-3.上記回答内容に関する詳細	事前学習1回＋実習50時間以上＋レポート（報告書）提出
6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい	

要素⑥	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	事前にインターンシップの意義や目的を受入先に御理解いただいた上で実習内容を設定いただいている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://www6.jwu.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml
問い合わせ先	大学等名	日本女子大学
	担当部署名	キャリア支援課
	担当者役職名	
	担当者氏名	柿澤実紀
	電話番号	03-5981-3344
	メールアドレス	intern@atlas.jwu.ac.jp